

JICA 草の根技術協力事業

インドネシアの中学校教員ら 21 名が

教育実習の様子を視察

国際協力機構(JICA)は、富山県を拠点として活動している一般社団法人インドネシア教育振興会とともに、JICA 草の根技術協力事業※(草の根パートナー型)「インドネシア国・中学教科『環境』の確立と環境教育の普及支援プロジェクト」を実施しています。このプロジェクトは、2014年1月から2017年3月まで実施され、南タンゲラン市の小学校に教科「環境」を導入した第1フェーズを継承する事業で、2017年6月から4年間の予定で同市の中学校への導入と他市への拡大を目指して実施されています。この事業の一環で来日研修中の、現地でカリキュラムや教材作成に携わる中学教員や大学関係者ら21名が、富山大学附属中学校を訪問し、9月11日(火)、12日(水)の2日間にわたって教育実習生による研究授業の視察等を行っています。12日(水)は、研究授業を視察後、2日間の研修のまとめ(質疑応答、ディスカッションなど)を実施します。

つきましては、以下のとおり取材していただければ幸いです。

1. 日時および場所

- ① 9月10日(月) 14:30-17:00 **研修目的発表** (CIC 富山市交流センター会議室1) (終了)
- ② 9月11日(火) 9:00-12:00 **中学校での授業観察** (富山大学附属中学校)
- ③ 9月12日(水) 12:30-16:00 **中学校での授業観察・まとめ** (富山大学附属中学校)
- ④ 9月15日(土) 9:00-12:00 **研修成果発表会** (サンシップ富山 601)

2. 参加者：一般社団法人 インドネシア教育振興会 窪木 靖信 代表
インドネシア研修員 21名

ほか

【本件に関する問い合わせ先】

(独) 国際協力機構北陸センター (JICA北陸)

北川 涼子 (草の根技術協力事業担当)

TEL 076-233-5931 e-mail: Kitagawa.Ryoko@jica.go.jp

※JICA 草の根技術協力事業は、国際協力の意志を持つ NGO、大学、地方自治体等の団体による開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICA が政府開発援助（ODA）の一環（JICA の委託事業）として促進する事業です。

当機構は、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成のために力を入れて取り組んでおり、本案件は、SDGs 目標4の“質の高い教育をみんなに”と目標15の“陸の豊かさを守ろう”を主な目標に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

